

八雲町立山越小学校
学校だより
まごころ

至誠

重点教育目標

- 自ら学び ・自分の課題に取り組み続ける子 ・自分の考えや気持ちを表現できる子
- 心豊かに ・挨拶と返事のできる子 ・みんなと協力して取り組める子
- たくましく ・機敏に行動できる子 ・最後までやり遂げる子

第5号 令和4年7月22日発行



共に学び続けた4か月

教頭 伊多波 渉

今年度がスタートして、4か月が過ぎようとしています。この4か月を子供たちがどのように過ごしてきたのかを振り返ってみますと、4月と比べ心身ともに成長したと感じています。まさに前に進み続けた成果です。

高学年が中心となって低学年を導き取り組んだ運動会。昨年の自分を超えるため走ったり、踊ったり、互いに声をかけ合いながら最後まで成し遂げる姿がたくさん見られました。最終的に紅白での勝敗はつきませんが、どの子にとっても自己を高めるよい機会となりました。

5・6年生は、野田生小学校の同学年と国語と算数の遠隔授業を行いました。5・6年生は一人ずつしかいないため、日常の授業では自分の考えや気持ちを伝えるという活動にどうしても制限が生じてしまいます。他校の同学年の友達と共に学ぶことで考えを伝えたり、意見をもらえたりすることで子供たちは学びを深めることができました。今後は、5・6年に限らず、遠隔授業などの取組を進め、個々の力を伸ばす取組を進めていきたいと思えます。



他にも、毎日の授業や遠足・田植え体験などの学校行事などを通して子供たちは、共に学ぶ楽しさや人・自然と触れ合う喜びなどをたくさん感じる事ができたと思えます。今後も、子供たちが心身ともに成長できるような学習や体験を工夫し行っていきます。

保護者の皆様には、教育活動へたくさん御協力をいただき本当に頭が下がります。特に、熊出没に関わっての登下校の送迎については、いろいろと御多用の中ご協力いただきありがとうございました。子供たちが毎日元気に過ごすことができている

のは、ご家庭の支えがあってこそです。これからもよろしくお願ひいたします。

さて、明日から子供たちが楽しみにしている夏休みです。今年度から、八雲町の小中学校では夏休みが30日間（冬休みは20日間）になり、今までより5日長くなります。各学級でも夏休みの過ごし方について指導をしておりますが、ご家庭でもお子さんと時間の使い方やお手伝いなどについて話し合う機会もって、有意義な30日間にしてほしいと思えます。

ところで、「百聞は一見に如かず」という諺を聞いたことがあると思えます。「他人から何度聞いたところで、実際に自分の目で見る等体験して事実を知るという方法には及ばない」という意味です。休み期間中、外に出かけたり、人に会ったりする機会が多くなると思えます。普段なかなかできないことに挑戦する絶好の機会です。自分からいろいろなことに挑戦し、見識を深めていくことを願っています。

8月22日（月）には、子供たち全員が元気に、心も体もさらに成長し、笑顔いっぱい楽しかった夏休みの思い出をたくさん聞かせてくれることを楽しみにしております。

最後になりますが、交通安全や水の事故、健康に気をつけ、有意義な時間をお過ごしください。

8月行事予定

- | | |
|---------------|-------------------|
| 11日（木）山の日 | 22日（月）夏休み明け集会 |
| 12日（金）学校閉庁日 | 午前授業（給食なし） |
| 15日（月）学校閉庁日 | 24日（水）宿泊研修（5年） |
| 16日（火）学校閉庁日 | 25日（木）宿泊研修（5年） |
| 19日（金）ICT家庭学習 | 26日（金）クラブ（スポーツ教室） |

水泳学習（1・4年）

今年度初めての水泳学習を行いました。1年生にとっては、小学校に入って初めての水泳学習です。ひんやりと冷たいプールに入る時に、「きゃ〜！」と大喜びしていました。水泳学習で大切にしていることは、「浮くこと」「息継ぎができること」です。はじめに水に慣れる運動をした後、グループに別れてビート板や浮き輪等を使って力を抜く練習をしたり、鼻から息を吐く練習をしたりしました。それぞれのグループで、楽しみながらも一生懸命に練習する姿がたくさん見られました。「今年の水泳学習で、〇〇ができるようになった！」が実感できるよう、次の水泳学習にも取り組んでいきます。

もし機会がありましたら、夏休み中にプールに行ってみてください。



考えて選ぶこと（5・6年）

参観日に特別の教科 道徳の授業を行いました。教材「手品師」は、道徳におけるロールプレイの大切さを説いた方が書いたお話です。参観いただいた皆さんにも子供たちと一緒に「自分なら何を考え、どんな行動を選択するか」を考えていただきましたが、道徳ではこのように様々な場面でロールプレイをすることがあります。考えは一人一人違いますが、自分・相手・環境などからじっくり考えて判断することを大切にしています。このような学習活動が、子供たちが小学校を卒業したあとも、自分の人生で大切にしたい価値観を見つけ、よりよく生きていけるための一つのヒントになれば、と思いながら授業を行っています。

お忙しい中、参観・懇談のため足を運んでいただき、ありがとうございました。



ケリア先生、ありがとう！（特別支援学級）

ALTのケリア先生が7月で任期満了となり、アメリカへ帰国することになりました。

直接かかわることは少なかったあおぞら学級の子供たちは、いつもケリア先生の明るい「ハロー！」の声に嬉しそうに反応していました。ケリア先生がいなくなるということで、全員でメッセージカードを書きました。優衣奈さんはノタン、千弦さんはポケットモンスターをあっという間に描きあげていました。メッセージの文字も力強く、見やすくなっているなど感心しています。この他に、心を込めて作った四つ葉のクローバーを挟んだしおりもプレゼントしました。

子供たちの温かい気持ちがたくさん詰まったプレゼント、ケリア先生も本当に喜んでいました。最後のお別れの会も心温まるひとときとなりました。



火災避難訓練

11日（月）、火災を想定した避難訓練を行いました。理科室から出火したという想定で、全員「おはしも（押さない・走らない・しゃべらない・戻らない）」をしっかりと守り、外に避難をすることができました。

避難終了後には、消火器の使用体験や防火服の試着体験、煙幕の体験をしました。子供たちは防火服の重さに戸惑い試着するのに時間がかかっていましたが、消防士が1分以内に着終えるのを直に見て、1分1秒を争う消防の仕事のすごさを実感することができました。煙幕の体験では、煙を吸わないようにハンカチなどで口を覆い、腰を低くして手探りをしながら部屋の外に出ました。

素早く避難することの大切さと消防士のすごさを実感することができた避難訓練となりました。

